

対バングラデシュ気候変動・防災支援パッケージ

✓日本は、バングラデシュにおける気候変動対策支援を通じ、2015年12月のCOP21における気候変動に関する新たな国際枠組みへの合意に向け連携を強化する。

具体的内容

適応・防災

【円借款】

- ・ハオール地域洪水対策・生計向上計画【新規】(152.70億円)、2014年5月E/N署名 ハオール地域において、洪水対策施設の修復・建設等を行うことで、防災(洪水被害の軽減)に寄与するもの。
- ・カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設及び既存橋改修計画(I)(289億4,500万円)、2013年3月E/N署名
首都ダッカと国内第2の都市チッタゴンを結ぶ国道1号線上に位置するカチプール橋、メグナ橋、グムティ橋を改修するとともに、それぞれ第2橋を新設し、道路の複線化を図るもの。また、河川の水位の上昇に対応可能な橋梁を整備することにより、気候変動への適応を支援。

【無償】

- ・住民主体の災害リスク軽減プロジェクト(日本NGO連携無償資金協力)
(特活)シャプラニールにより2013年2月～第1年次(13,444,778円)、2014年3月～第2年次(12,648,149円)事業実施中。
デルタ状の地形にあり、サイクロン被害を受けやすい南西部において、緊急災害対応システム及び災害に強いコミュニティの形成支援を行うもの。

【技協】

- ・自然災害に対応した公共建築物の建設・改修能力向上プロジェクト(2011年3月～2015年3月)
- ・バングラデシュ国における高潮・洪水被害の防止軽減技術の研究開発プロジェクト(科学技術)(2014年4月～2019年3月)【新規】
- ・持続可能な水関連インフラ整備に係る能力向上プロジェクト(2013年7月～2016年6月)
- ・専門家の派遣
河川管理アドバイザー(2012年9月～2014年8月)
統合的水資源管理アドバイザー(2014年下半年派遣予定)【新規】

緩和

【円借款】

- ・マタバリ超々臨界圧石炭火力発電計画(I)【新規】(414.98億円)、2014年5月E/N署名 高効率な石炭火力技術により温室効果ガス排出を抑制することで、気候変動対策に寄与するもの。
- ・再生可能エネルギー開発計画(113億3,500万円)、2013年3月E/N署名
バングラデシュ農村部における太陽光発電、バイオマス発電等の再生可能エネルギー設備の設置資金を供与するもの。
- ・ベラマラ・コンバインドサイクル火力発電所建設計画(414億8,000万円)、2013年2月E/N署名
高効率のコンバインドサイクル火力発電所を建設することで、温室効果ガス削減効果により、バングラデシュの気候変動の緩和に貢献するもの。
- ・ダッカ都市交通整備計画(I)(104億7,700万円)、2013年2月E/N署名
ダッカ市内の都市高速鉄道(6号線)を建設するもので、公共輸送の利用促進を通じた大気汚染の抑制および気候変動の緩和に貢献することが期待される。

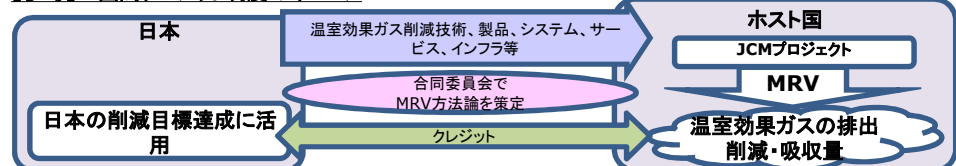
【技協】

- ・省エネルギーマスタープラン策定プロジェクト(2014年1月から2015年2月)

二国間クレジット制度(BOCM)

- ・バングラデシュとの間では、2013年3月に二国間クレジット制度創設に関する二国間文書に署名。
- ・2013年7月及び2014年1月に両国の代表者からなる合同委員会を実施し、プロジェクト実施に必要な規則及びガイドライン類の大部分を採択済み。今後は残りのガイドライン類を採択するとともに、具体的プロジェクトの実施に向けて連携していく。

【参考】二国間クレジット制度のイメージ



※MRV: Measurement(測定)、Reporting(報告)、Verification(検証)